

献 辞

元人文学部長 増 田 豊

渡部孝先生は、昭和 38 年 4 月松山商科大学経済学部講師として就任されて以来、38 年の長きに亘って、本学の英語教育に多大の貢献をされてこられました。昭和 49 年の人文学部開設に当たっても努力され、開設以降は英語英米文学科の中心的メンバーとして「英文法」、「英語表現法」、「英語音声学」、「英語学概論」と幅広い科目を担当され、学部学科の発展の原動力として努力されてまいりました。教室での授業のみならず ESS での課外活動を通じて先生の指導を受けた卒業生が多数、優秀な英語教師として、あるいは商社マンとして英語を武器として活躍しております。

昭和 40 年に私が本学に赴任した当時から、渡部先生の英語力は地元松山では夙に有名でありました。1955 (昭和 30) 年から一年間、他に日本人の一人もいないノース・ダコタ州立大学に留学されていたとお聞きして、「さすが」、「やはり」と感嘆したものでした。爾来 30 有余年間、先生は私の師であり、同僚であり、また友人でありました。これからもずっとこの関係を続けさせていただきたいと思えます。

先生は昭和 55 年から 59 年まで人文学部長を務められましたが、その前後にも入試委員長、評議委員、経済経営研究所長、総合研究所長等次々と重責を担われ、大学運営の面からも本学の発展に大いに寄与されました。

また、先生は学生の指導においても、大変意を尽くされ、先生のゼミナールはいつも人気があり、多くの学生が気軽に先生の研究室を訪れ、指導を受けておりました。優しく円満なお人柄と、穏やかなウィットに富んだ語り口で、先生に接する多くの人々に、心温まるものを与えてこられました。

大学外における渡部先生の貢献も多大のものがあります。学会関係では、四

国英語教育学会理事，大学英語教育学会評議員などにも足跡を残されておりますが，特に地域社会に対する先生のご貢献は特筆すべきものがあります。現時点で活動されているものだけを挙げても，松山市生涯学習振興財団評議員，松山市景観審議会会長，松山市社会教育委員長，松山市奨学生選考委員会委員長，青少年センター運営審議会委員と多岐にわたります。元来控え目なお人柄の先生が，これほど多くの役職を委嘱されているのは，先生の豊富な学識・経験と優れたお人柄のゆえに，請われてやむを得ずお引き受けされたものと承知しております。

ここに，渡部孝先生のご退職を記念し，また本学における永年のご功績，ご貢献に敬意と謝意を表すために，学内外からの寄稿によって，「言語文化研究——渡部孝教授記念号」を編纂いたしました。先生の今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りし，謹んでこの論文集を先生に献上いたします。